

平成23年度川崎区区民会議第3回環境部会

日 時：平成23年9月8日（木）18時30分～20時30分

場 所：川崎区役所7階第1会議室

出席者（敬称略）

（1）委員 4人

木島千栄、秦琢二、藤岡玲子、鷺頭多加志

■開会

事務局 <会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

1. 環境意識向上への取組について

（木島部会長）

先日の環境の広場で良い映画を拝見させて頂きました、良い取り組みだと思います。それでは、審議を進めさせていただきます。環境意識向上への取組について、川崎エコ暮らしフェスタの受賞者の表彰式についての報告をお願いしたいと思います。企画課長お願いします。

（金子課長）

8月28日に川崎エコ暮らしフェスタと称して、セミナーと映画の上映を県主催の部分と前段で環境問題啓発ポスターについての表彰式とその前にコクウという団体の太鼓の演奏で大きなイベントとなりました。表彰式の報告ですが、受賞者にお声かけをしたのですが、最終的に23名出席して頂いて、最優秀賞の方も家族を引き連れてきていただきました。各学校でも報告されているようです。木島部会長は、見ていただいていたよな。

※参考事例の資料説明

（木島部会長）

受賞したお子さんイコール環境大使みたいに率先してという感じでは無かったみたいですが、親御さんが喜ばれたのではないかと思います。ご覧にはなされましたか。

（鷺頭委員）

行きました。区長から直々に賞状を頂いて、嬉しいと思います。親御さんが喜んでくれるのでこれからも関心を持っていただきたい。

(木島部会長)

秦委員は、実際には参加されていませんが、子どもさんにずっと関わってきて、環境大臣イコールではないよというのが分かった感じがしました。秦委員は、ポスターを選んだのですよね。みなさんの前で表彰されるのは、嬉しい事ですよね、とても良い取り組みだと思います。これをいかに環境意識向上に結びつけていくかが、これからの目標だと思います。これから事業拡大の方向性について審議を進めていきたいと思っています。資料1をご覧くださいになると啓発ポスターの活用ということで、色んな意見が出されていますが、皆さんの意見を集約したのが2に書かれています。これに付け加えることありますか。

(鷺頭委員)

表彰された子ども達は、他に副賞とかあるのですか。

(担当係長)

優秀賞と最優秀賞には、図書カードがでています。最優秀賞には、1,000円分で、優秀賞に500円分で、皆さんには、お土産として、エコバックにエコちゃんの絵が入ったクリアファイルとかをだしました。舞台上で表彰式をやるので、急遽花束も用意いたしました。

(木島部会長)

みんなの前で表彰されただけでもうれしかったと思いますね。

(鷺頭委員)

企業の商品とかもつけてもらえたら良いと思います。

(金子課長)

川崎エコ暮らしフェスタの報告をさせていただいてました。

(木島部会長)

これから環境意識向上のポスター作成継続・拡充をするためにどういった取り組みをしなければならないか。その方向性について審議していました。実際にお子さんが表彰式を受けて、とても喜んでいた様子を受けて、どういう風を感じたのか、藤岡委員が実際にいらしたので、お聞きしようかと思います。

(藤岡委員)

もっとお友達を連れてきてほしかったと思います。学校側からもクラスを代表して絵を描いてくれた意識があったのではないかと思います。今回初めてだったので、そういうのがあったんだという意識は出来たのかなと思いますので、次回以降は、あらかじめ区長からの表彰があるものとして、みんなでお祝いにいこうねとクラスから選ばれた絵をみんなで見に行

こうというような雰囲気を作っていきたいと思います。会場で拍手をしていたのが、高齢者ばかりでちょっと違和感がありました。子どもうちで盛り上がっていく雰囲気が無いと親も子どもがやっているのだから、ちょっとやってみようかしらという感じにはならないのではと思いました。来ている子どもたちは、当然一人で来ている訳ではないので、兄弟がいる子は、兄弟も連れてきているので、ポスターが貼られている所で家族で写真を撮っているのは、非常に微笑ましかったです。

ホールの入口のところに地球温暖化防止センターのメンバーが自家発電の装置を持ってきてPRしていたのですが、肝心のポスターの事を全然知らなかったのも、身内への周知も、もっとやってほしかったなと思いました。東北の被災地のパネルがあって、その向こうにポスターが隠れてしまっていたので、ホールに入る人は通り過ぎてしまうので、ポイントポイントは良いのだけれど、どうもつながっていないという気がしました。そこをつなげていくとお互いにもっと良いPRが出来るのではないかと思います。

(木島部会長)

これまでに出示された環境問題啓発ポスターの活用に係るポイントについて、付け加える内容はございますか。

(秦委員)

前回、お金をかけずに知恵を出さないといけないと思っていたのですが、今いちこれだっというものが無い。話は違いますが、渡田小学校の校長先生から学校の広報誌に載せたいのだけれど、いい写真が無いと言われたのですが、こちらからお借りすることは、大丈夫ですか。

(金子課長)

大丈夫です。

(秦委員)

学校でも朝の朝礼の時に報告をされている。図書券も子どもですが十分です。表彰されて、うれしいと思う気持ちが啓発につながると思います。

(金子課長)

今回、エコバックも既存のエコバックを地域振興課からもらって、環境だからちょうどよかったです。

(秦委員)

朝礼の時には大したことはないのですが、がんばりましたというようなことをやってくれば、もしかしたら他の子にも意識が波及されるかもしれないし。

(木島部会長)

環境の広場展に関しては、期間も短いですし、PR というか広報も難しい状態もあったと思いますが、子どもさんが喜ぶ表彰式も出来たし、内容がある映画も上映されていたので、良かったという気がします。もう少し、人が来てほしかったと思います。

(金子課長)

会場が大きすぎた感じもします。

(秦委員)

ちょうどバッティングしていたのですが、川崎区が別の場所でスポーツ大会をしていました。

(上野副区長)

大きなホールを予約する時には、1年前ぐらいから皆さん予約を取っています。今回教育文化会館が、たまたま空きがでたということで、区民会議から環境意識向上への取組の中の一環で、表彰式をやりたいという意見が出ていたので、今年度になってからのお話だったかと思います。そういう意味で大は小を兼ねるということで、やむを得ない。当時、子どもさんと保護者の方という事で、土日でいこうということになると会場が限定されてしまいます。今年取組をきっかけに来年もやろうよとなると今からちょうど良い大きさの会場を予約して準備していくと効果的な啓発が出来るかなと思います。

(金子課長)

次回全体会議がありまして、今の取組として報告もして頂かなければならないと思います。ポイントを考えていく上で、どの程度をラインとするのか、環境意識の向上という部分も大きいので、難しいと思いますが、目標値が無いと評価もしにくいと感じています。

(木島部会長)

環境ポスターをどのように活用するか。ご意見のある方いらっしゃいますか。

(藤岡委員)

活用にかかるポイントから少しはずれてしまうのですが、目標という事では、参加する学校数。毎年10校づつでもいいのですが、まだ1度もやったことが無い学校、参加したことが無い学校をなくしたいのですが。ここ3年ぐらいやって、まだ参加したことが無い学校はあるのですか。

(担当係長)

徐々に参加する学校は増えていっていますが、まだ全く参加していない学校もあります。おそらく 1/3 ぐらい 7 校ぐらいは、今まで参加していない可能性がある。

(金子課長)

理由としては、年間の学校のカリキュラムの中でその時期に描かせるのが難しいとされています。

(藤岡委員)

一つは、その辺をどうしていくか、こういうポスターを描いてみたいという子がいるかもしれないので、巻き込みたいと思います。

(金子課長)

あとは、いろんな所から描いてくださいと求められるらしいです。

(藤岡委員)

警察署とか消防署とか。防犯や火の用心もあるし。今 3 回やって、あと 2 回ぐらいやるつもりであれば、今回はちょっと参加してみようということになるかもしれない。5 年間で全部の学校に参加してもらおうとか、参加する学校を増やすことは、意識していきたいと思います。

(上野副区長)

今、藤岡委員のお話で、考えうることですが、カリキュラムの話をして頂いた。実は、学校のカリキュラムはほとんど前年度末にある程度組み始めるので、来年度に向けてだと今年度中に依頼をしていく。今回の取組が定期的なものなんだと理解いただけるようになると早めの広報、早めの周知でカリキュラムに取り入れやすくなるのかなと思います。そういう意味で、こども支援室があって校長会が開かれています。そこに直にポスターを持って行って、これは、今年の優秀賞ですということで、その部分をアピールしていくのは 1 つの方法なのかもしれません。その時に、こども支援室が更に一步踏み込んで、今回うちは環境に関するポスターです。特に環境については、全ての学校で何年かに 1 回ずつぐらいは、必ず参加しようねと具体例を見せることが必要だと思います。今後、向上に向けての取組みの報告書提言という形でまとめて頂くことになろうかと思っています。その辺も今言われたような意見に触れていってもらえるのも良いかと思っています。

(金子課長)

働きかけを工夫するというご意見でよろしいですか。

(藤岡委員)

今は、自分達の年度というところで動いているので、春先に描いてもらって、夏に表彰してなっていますが、それをずらすことで他の7校が今年はだめだけれど、来年はという事になるのであれば、描いてもらう時期をこちらからずらす提案をするのもよいと思います。

(木島部会長)

今、上野副区長がおっしゃっていたことも支援室の区内の校長会は、非常に良い事ですね。具体的な提案を持っていくのが、皆さんに認識してもらうのに非常に良い方法だと思います。

(金子課長)

前年のポスターを持って行って、去年はこういうのをやりましたということを3月に1度アナウンスをしたうえで、更に校長とか担任が変わるので改めて4月にはお願いはしているのですが、更なる工夫はやっていなかったです。

(木島部会長)

全体会で報告をしなくてはならないので、環境啓発ポスターの活用に係るポイントについて、今のご意見としてどうですか。活用方法の内容については、ポストカードとして配布する等ご意見が出ていますが。バスの側面の印刷は、ちょっとお金がかかりすぎますね。

(藤岡委員)

以前、金子課長からもしかしたらとお話があった、エスパみたいな商業施設での現物もしくは同等大のコピーの展示の今後はどうなっていますか。

(金子課長)

とりあえず今年は、やりました。

(藤岡委員)

反響は、どうだったのですか。来年もこういうのあったらやりたいとか。

(担当係長)

実際見た方は、商業施設にいらした方で、エスパからは来年もやるんですよねと言われてます。少し聞いたところによると、お客さんが立ち止まってみたりとか、描いた親子ずれみたいな方とかが来ていたそうです。一番見て貰えたのではないかと思います。

(金子課長)

親子連れで来れば、ついでに買い物もしようとなるので、エスパさんにとっても悪い事ではないと思います。ポスターを展示できる場所を増やすことによって、1回限りではないので、拡充という意味でもエスパさんは良かったと思います。

(藤岡委員)

エスパで見れば、おじいちゃん、おばあちゃんも連れて行けます。場所的にも区の真ん中辺なので、とても良いですね。

(金子課長)

川崎信用金庫さんにも佳作以上30枚を貼って頂きました。川崎信用金庫さんも無料でロビーを貸してくださいました。ポスター展については、今年は充実しています。行政だけではないというところで出来ました。

(藤岡委員)

掲示場所の拡充というところで、商業施設に関しては更なる拡充です。優秀賞の3枚だけでも私達市民の方から貼って頂くように交渉しなければいけませんね。今年は、緑という事で色遣いも明るくて良いと思います。

(鷺頭委員)

自由参加枠とか、お父さん枠・お母さん枠とかを作ったりしてはどうですか。1回きりでもよいので、大人の展示も良いのではないかと思います。

(金子課長)

審査が難しいと思います。

(藤岡委員)

子ども達に選んでもらうとかどうですか。

(木島部会長)

活用方法の拡充の中にカルタにするとかありますが、学校でやる機会とかあるのですか。学校で使われるものに環境ポスターの小さいサイズを貼りつけて、実際に目に触れる形で見て貰うのはどうでしょうか。

(秦委員)

今回ポスターで審査していたのですが、厳密にルールを決めた方が良い。

(金子課長)

最優秀賞は、ポスターにすると学校には周知していますが。

(木島部会長)

ポスターに関しては、色々なご意見を踏まえた上で、全体会議で報告をさせていただく。まず、商業施設への掲示を拡充する。現在、エスパとかかわしんとかで展示している状況で、非常に好評であります。今後こういう取り組みも付け加えていく。学校にも働きかけをして拡充したいと思います。

3. 地域課題解決へのポスター活用のあり方についてまでで、何かご意見ございますか。

(金子課長)

活用方法の拡充例みたいな形で、なるべく沢山出しておくのがいいと思います。こういう事をする、こういう効果があるよということを示さないといけない。やった結果検証がしにくいと取り組みが難しくなってしまうと思います。

(木島部会長)

ポスターを貼って、見て頂くことによって、環境意識が多少は芽生える事はあると思いますが、最終的な目標というものではないのですよね。

(鷺頭委員)

最終的な目標は、環境意識の向上なので、啓発する為にポスターを貼る。それを普及させたいからいろんなものに付加を付けている。

(上野副区長)

取り組むことで、効果は上がっていきます。これから継続的に行っていく形になるのですが、意識向上といった時に今いるところから上がるわけで、その指標を何にするかというのが1つあると思います。参加する学校の数が増える。参加する子ども達が増える。それと同じように広報していった時に目に見える指標がなにかあるといいよね、物差しがあると拡充していく時に見えやすいものだといいのかもしれない。商業施設アゼリアのメインのフロアで、イベントをして、そこの参加者数を1つの物差しにしている。テーマは、人権ですが、そこで様々なイベントをしながら当日、そこにいる人に働きかけていく。その時に作文のコンクールの表彰式をやっていた。そこで書いた作文を読み上げてもらう。そういう所での参加者数。イベントも単発だとつかみやすい。長期に渡っていくと効果を感じ取るのが難しいと思います。

(鷺頭委員)

この中で数値的な効果が向上するかもというものがあるのですか。

(上野副区長)

表彰式やイベントをやった時にアンケート調査を取って、昨年ポスターを見たことがありますかとかは、できるかもしれません。1年間やった広報によって市民・区民の方々がどれほどポスターに気が付いたかという事です。

(鷺頭委員)

アンケートを取って数として把握するという事は、やらないとわからないというわけですよ。

(木島部会長)

では、何に対してアンケートを取るのか。何について数字としてあらわせるものとするか。

(鷺頭委員)

仮にカレンダーにするのを採用したとして、1年たってアンケートを取る。カレンダーを見ましたかという数を把握する。それで効果があったかどうか判断して指標にする。

(木島部会長)

一番簡単な方法は、商業施設に展示していたところでアンケートをとる。例えば、かわしんとか。

(コンサルタント)

参考になればですが、なぜポスターを子どもが描くかということです。子どもが描いたポスターは、どんなに上手でも目にとまるのはなかなか難しい気がする。何人の人に伝わるかです。しかし、ポスターを描いた子どもが描いた内容について意識をする。さらに子ども達が描いているのでご両親やおじいちゃん・おばあちゃんがそれを描いている事を知っているので環境に対して意識をする。子ども1人に対して、2倍から3倍の人が意識をする。コンクールの方に子どもの参加者数を増やすのが、環境意識を向上するには一番よいと思います。どうやったら環境ポスターを描きたいというモチベーションになるのか。励みになるアピールの仕方を考えると、例えばラッピングバスに絵が載ったら、私の絵が載るんだよということになれば子ども達も喜ぶし励みになる。励みということでアピールの仕方を考える。

中原区でマナーポスターをやったときにマナーを考える時にまず子どもからだよねという話になりました。マナーの絵を描いて一般の人に見せるのが目的ではなく、子ども達が1回描いたら大人になってもポイ捨てをしないだろうというところに期待をかけている。だからこそ色んなところに貼ってあげるから、みんなが描いた絵が貼られるんだよとか、表彰でこんなものがもらえるんだよとか、モチベーションが上がる。商業施設のエSPAに貼られていても一番うれしいのは、本人だと思います。

(木島部会長)

商業施設への展示拡充と学校の参加数を増やす。大人も参加できる展示をする。

(鷺頭委員)

描いてもらった本人に喜んでもらうのが一番いいと思います。又描きたいなという気持ちにしないと。

(藤岡委員)

参加の自由枠というところでいくと、絵は決して得意ではないという子ども達は、どうするんだといったときに1回目のポスターコンクールをやった時に区役所の方に「一言標語」みたいなことがあって、絵はお子さんに描いてもらって、その絵を見て、大人が言葉を考えると、絵が得意ではない方は、標語枠もあるよというのもいいのではないのでしょうか。学校の授業でないとなかなか時間が無いと絵は描けないけれど、標語だったら出来るよとか。参加する学校を増やし、なおかつ絵が得意でない子どもにも参加してもらえる。

(コンサルタント)

中原区では、標語もやっています。絵と標語は別々にやっています。

(木島部会長)

横浜の授業でもありましたよね。本人が絵の説明をするのですが。数多くの子どもさんを参加させることによって、より広がりをもたせる。

(秦委員)

審査では、やはり上手な絵を選んだのですか。

(木島部会長)

上手だとは限らないですね。訴える力があるのがポイントですね。

(金子課長)

うちの方で要項を作って、こういう視点で選んでくださいという形で審査員の方にお願ひしました。例えばテーマにあっているとか、付箋を貼っていくような投票の仕方で絞り込んでいきました。基準は、いくらでも作れると思います。最優秀のポイントは、ポスター映えがするということでした。

(木島部会長)

商業施設への展示拡充と自由参加枠もつくる。

(金子課長)

今こういう案が出ていますよという報告内容で大丈夫です。

2. 川崎区「区の花」「区の木」の活用方法について

(木島部会長)

川崎区の「区の花」「区の木」の活用について審議を行いたいと思います。「区の花」「区の木」の選考委員会で藤岡委員と鷺頭委員から報告して頂きたいと思います。

(金子課長)

事務局より資料2説明。資料3と資料4説明。

設定目的は、区民会議の環境部会で話されていた内容で、さらに区民からの意見を広く反映したいので公募します。資料4の裏が応募用紙になっています。参加を促す為に、221名分の記念品（川崎の名産品）を応募した方に抽選でプレゼントをする仕掛けにした。

来週末ぐらいから町内会に応募用紙を配る手配を進めたいと思っています。

(藤岡委員)

応募用紙には、5つの区の花と5つの区の木が読み方と咲く時期が載っています。区の木については、候補もあまり上がらなくて元々10個ぐらいだったのを5つに絞ったぐらいだったので、多摩区で選ばれているのははずす感じでしたが、花の方は、沢山種類があがって2回目はすごい数でその中から、育てやすいものとか小学生でもやれるもの。咲いたその時はいいのだけれど、花を摘み取ってあげないとみすぼらしくなるものとか、ぽとっと落ちてしますものは、縁起が良くないとかあって、本当に育てやすく大人も子どもも親しみがあって、戸建てに住む人も、集合住宅に住む人もある程度育てられるもので残ったものです。花は、7つぐらい残ってあと何を削るという感じで絞りました。

一番人気は、ヒマワリとビオラでした。もう少し時間があれば、自分の所属団体は65人からいるのですが、実際話を聞いたのは、まず8人に話を聞いて、65人のうちせいぜい20人ぐらい話を聞きました。時間があれば過半数の意見をまとめて「海風の森」として推薦しますとやりたかったのですが、今回はどこの団体もどなたもそこまでやり切れませんでした。若い人の意見が反映されていない、どの団体さんも60歳代が中心でしたので、6に〇が付くとしたら若い人なのかなと思います。

(鷺頭委員)

2本立てていくとか、期間を設けていくという話は無くなってしまったのですか。

(藤岡委員)

この結果を見てですね。

(鷺頭委員)

花でいくと季節が違うものも出てくると思います。それと応募資格ですが、区内の在住・在勤・在学者とボランティア活動をしている人とかも OK にしています。

(上野副区長)

かなり、緩やかに記念品がどうしても欲しい方は、別ですが。

(鷺頭委員)

欲しいのがあります。

(木島部会長)

応募数は、多い方が良いです。

(金子課長)

それだけ興味を持っていただいたという指標になると思うので、獲得目標という意味では、目標値ですね。

(鷺頭委員)

未成年者は、却下ですね。

(木島部会長)

よく、短期間にこれだけいろんな花が出てきたなという感じです。

(金子課長)

いろんな所から委員さんに出てきていただいているので。花壇をやっている人たちは、花壇に植えるなるこういう花とか、視点が色々違っていておもしろかったです。

(木島部会長)

川崎区は、自然が無くて花が無いように思っていたんですが、意外とありますね。

(鷺頭委員)

委員会で言っていたのですが、これに携わってから花をよく見るようになった。意識向上になっている。どれくらい応募用紙を印刷してますか。

(担当係長)

1,3000 枚くらい。

(金子課長)

町内会の回覧用にかなり枚数を必要としました。最初は、町内会で集めるみたいな話もあったのですが、町内会の役員さんにかかなりの負担をしいることになってしまうので、そこまでは無理かなということになりました。それでも町内会だけでも7,000枚くらい必要です。

(上野副区長)

選考委員会の委員長さんとお話をしながら若い層の応募をどうやって取っていくか。例えば学校でひとつのクラスで5種類の中から花と木を1つ選んでもらう。〇〇中学校何年何組45名の内訳とかという意見を貰っても良いのではないのでしょうか。

(鷺頭委員)

区の小・中学校の全家庭に余分があって配布できるのであれば。

(金子課長)

それは、無理というか無駄になってしまうと思います。

(上野副区長)

学校でこの先、「区の花・区の木」が今度決めるんだという広報にもつながっていくので、そういったこともやってみようかという話になっています。厳密に言ったら重複する人もいるかもしれません。

(金子課長)

数が多いからといって、投票ではないので、ヒマワリとビオラと出ていましたが、それが3,000のうち2,000とか1,000とかだとしたらその2つが上位に行くという形なので。保育園とかも区のものなので、父兄に用紙を配布したりする。中間ぐらいでいったんしめて、公募が少なければ又別の方法を考えます。

(木島部会長)

活用方法ですが、他都市の「花・木」活用事例が参考になればと思います。活用の方法としては、川崎市では、封筒や広報誌ぐらいにしか活用されていない様ですが。ロゴマークの活用まで考えております。公園とかに決まった花を普及する。

(金子課長)

区の方でいくつか考えているのは、イベントとかで苗や種をあげているのを区の花のものに変えてしまう。

(木島部会長)

折角記念品に川崎の名産品が並んでいますが、そういった企業と提携して、ラベルの中に区の花を入れてもらうとかシールの部分を「区の花」に変えてもらう。企業への呼びかけをする。

参考資料の中には、キャラクターがかなりありますね。

(藤岡委員)

うちは、森の中に一部花壇があるので、決まったものを植えることが出来ます。ガーデナーさんと団結して、駅にも商店街にもある形で植えることが出来る。市民祭りがあるとか、人が集まる行事があるときには必ず通るところには植えるとか。町内会とか商店街の協力が必要になってきますが広げていける可能性があります。来年以降の区としてのイベントをいくつかピックアップして、その際は、区の花を植えましょう場所が離れていても海風の森も植えますよとか連携していきたいと思います。

(金子課長)

それが地域に広がっていくといいですね。

(藤岡委員)

いくら長期間咲くビオラでも、この時期でないとだめという集中するスポットがあると思います。そこにどんなイベントがあるのか。ここでやろうと決まるとシニアパワーはすごいものがあります。

(金子課長)

そういった意味では、委員会を作ったのも意味がありました。

(藤岡委員)

わざわざ、育て方教室をするような花ではないかもしれませんが。ポイントとか、沢山植えるならこれくらいの間隔でとか、知りたい方もおられるかもしれないので。区の花の育て方があっても良いのではないかな。

(鷺頭委員)

写真コンクールなんかもいいですよ。

(木島部会長)

写真コンクールはやっていますね。

(担当係長)

公園緑地協会で、「わがまち〇〇コンクール」で花壇とかのコンクールを毎年1回やっています。

(金子課長)

そういうのがあるよとPRするだけでも違いますよね。

(藤岡委員)

わざわざ、コンクールを設定するのではなくて、こういうのがあるから区の花の写真を是非出して下さいという形で誘導するのも良い方法だと思います。既存のところに相乗りするのが一番良いと思います。

(上野副区長)

既存の相乗りという意味では、さっきのポスターコンクールに「区の花・区の木」をテーマにしたものを出してもらおう。広報も含めて来年度既存事業として。

(金子課長)

同じやるなら、そういう仕掛けも良いと思います。

(上野副区長)

「区の花・区の木」を選定・決定した年だから出来ることかもしれません。

(コンサルタント)

他都市の事例ですが、座間市は、ヒマワリが有名で、急に有名にしたのですが、夏場になると畑がヒマワリ畑になってそこが花見のスポットになる。それとは別に商店街とタイアップしてヒマワリの種を使って地元のケーキ屋さんがヒマワリのケーキを作っていました。

(上野副区長)

川崎市の花が、トータルで椿というお菓子を作っているの、そういう意味では、お願いをすると川崎区の花でも商品としてPRしてくれるかもしれません。金太郎飴とかもよいかもしれませんね。

(木島部会長)

名産品のお菓子屋さんも参加してくれると思います。

(藤岡委員)

花屋さんと連携できるものもあると思います。区の花が決まったら、お花屋さんには、区の花が決まったらポスターを貼って頂く。

(担当係長)

区の花が普及するまでは、協力して頂きたいと思います。

(金子課長)

例えば、植木鉢を買うと苗をあげますとか。

(木島部会長)

学校でも区の花として植えると思いますし、公園とかにも植えると思うので段々普及していくと思います。

(金子課長)

活用方法も次回全体会議で報告していただきますが、スケジュールの方を確認して頂いて。

(木島部会長)

全体会議は、10月4日に予定されています。環境部会としては、「環境意識向上ポスター」を活用した新たな展開について表彰式や今までの経過とこれからの拡充について話をする。それと「区の花・区の木」の候補としてあがっているものについて公募するといった内容の報告を致します。その後、活用事例としてこういった活用の仕方も考えられると報告したいと思います。

(金子課長)

今回は、10月4日が全体会議。その後の部会をいつにいたしますか。スケジュールだとその後第4回の環境部会で引き続き「区の花・木」を活用した取り組みについて審議になるかと思います。たぶん、この時期には集計が終わっていないと思います。

(藤岡委員)

場合によっては、もう少し遅く部会を開きますか。

(木島部会長)

募集して、締め切って集計が出るのはいつごろになるのですか。

(金子課長)

第5回のスケジュールの頃には、出来ると思います。

(上野副区長)

12月上旬を目指しています。

(木島部会長)

活用事例の審議をするのなら同じ内容になって、進展性が無ければどうしますか。

(上野副区長)

集計結果が出て決まってから活用策を考えて頂いた方が、具体的な案が出ると思います。12月上旬位に次回の部会を開催した方が良いと思います。早くても11月の終わりぐらいに結果がでます。

(金子課長)

公には、部会の後、決定という形になる。第1候補が12月5日で第2候補が12月7日をお願いいたします。